※令和４年度以降入学生用

学校番号	413

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　精選現代の国語（第一学習社）						
副教材等	解法のテクニック三訂版（啓隆社）　字義で覚える常用漢字・字義トレ（浜島書店） プレミアムカラー国語便覧デジタル版（数研出版） プレミアムカラー国語便覧準拠ノート（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では様々な国語教材に触れることで、自ら考え、周囲の人と協同で考える活動を行います。自分の意見をしっかりと持ち、またそれを発言できるように意識して取り組みましょう。
・論理的に文章へアプローチすることで、国語力の向上をめざします。皆さんには、読書の楽しみを知ってほしい、実生活に役立つ国語力を身につけてほしいと考えています。家庭でも興味のある本を沢山読みましょう。様々な文章に接し、語彙をふやし、日本語の文章が書けるようになってほしいです。
・家庭学習用に副教材として問題集や漢字帳も使用します。今年度は副教材として国語便覧デジタル版を取り入れますので、授業中の課題のほか、家庭学習にも活用してください。目的意識をはっきりと持ち、能動的に取り組んでいきましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
①　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
②　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
③　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	文章の構成を捉え、主題を読み取る。 ［教材］水の東西	a：・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]：東西の関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 c：・情報と情報を対比させながら展開する評論を精読し、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート リフレクションシート
	抽象的な説明と具体的な説明の仕方を理解する。 ［教材］日本語は世界をこのように捉える。	a：・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b[書]：事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する方法を学ぶ。 c：一般論と筆者の意見の違いを理解しようとし、抽象的な部分を具体例に沿って自分の言葉で説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート リフレクションシート
	文章の読解と自身の経験とを照らし合わせて、自分の考えを整理する。 ［教材］「生きもの」として生きる	a：・常用漢字を文や文章の中で活用する。 b[読]：筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 c：筆者の提言に対する考えを積極的に考え、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート リフレクションシート
	例示と抽象の関係を理解し、自身の表現にも活用する。 ［教材］ものとことば	a：・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 b[話/聞]：・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 c：・具体例を示しながら展開する評論を精読し、学習課題に沿って整理しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート リフレクションシート
2	対比構成を論理的に読み解く。 ［教材］ 「間」の感覚	a：・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b[読]：・文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 c：情報と情報を対比させながら展開する評論を精読し、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート リフレクションシート
	マイナスからプラスに転じる論展開を把握する。 ［教材］ 無彩の色	a:・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[話／聞]：色とイメージの結びつきについて理解を深め、自分の意見や考えを述べる。 c：・筆者の主張、他の生徒の意見に対し、論拠が適切かどうかを判断し、主体的に自らの考えをまとめることができる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート リフレクションシート

※令和４年度以降入学生用

	引用の趣旨を理解し、主題の読解につなげる。 ［教材］ ロビンソン的人間と自然	a：・常用漢字を文や文章の中で活用する。 b[読]：・「ロビンソン・クルーソー」を例として取り上げた筆者の意図を理解したうえで、主張を把握する。 c：内容や構成を捉え、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート リフレクションシート
	主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 ［教材］ 「本当の自分」幻想	a：筆者の創作活動に興味、関心を持ち、その意義を理解する。 b[話／聞]SNS やブログなどを題材にした筆者の主張を理解し、意見を交換する。 c：学習のまとめや自らの学びを振り返る作業に主体的に取り組んでいる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート リフレクションシート
3	主張とその反論を理解し、自身の表現に活用する。 ［教材］ 「動機の語彙論」という視点	a：主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b[書]：・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する方法を学ぶ c：・反論を示すことによって自分の主張の正しさを伝えようとする評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート リフレクションシート
	論理の型を理解し、事実と意見の区別を行う。 ［教材］ 「私作り」とプライバシー	a：主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b[書]事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する方法を学ぶ。 c：主体的に学習を振り返り、事実と意見の関係をふまえて論理の型を理解しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート リフレクションシート
	現代メディアの諸問題について理解を深める。 ［教材］ 現代の[世論操作]	a：常用漢字を文や文章の中で活用する。 b：[書]文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学ぶ。 c：自らのSNSやメディアの利用の仕方を主体的に振り返り、今後の学習や実践に生かそうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート リフレクションシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間